【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第１区分
【発行日】平成18年8月31日(2006.8.31)

【公開番号】特開2001-28267(P2001-28267A)
【公開日】平成13年1月30日(2001.1.30)
【出願番号】特願平11-199910
【国際特許分類】
Ｈ０１Ｍ　4/73　(2006.01)
Ｂ２１Ｄ　31/04　(2006.01)
Ｈ０１Ｍ　4/68　(2006.01)
Ｈ０１Ｍ　4/74　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０１Ｍ　4/73　A
Ｂ２１Ｄ　31/04　B
Ｈ０１Ｍ　4/68　A
Ｈ０１Ｍ　4/74　B

【手続補正書】
【提出日】平成18年7月11日(2006.7.11)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】 鉛－カルシウム－錫系合金からなる鋳造シートを鋳造する第１の工程と、第１の工程で得られた鋳造シートを複数の圧延ロールで順次圧延する第２の工程と、第２の工程で圧延したシートを一旦巻き取る第３の工程と、第３の工程で得られた圧延シートを巻き戻しながら機械加工して鉛蓄電池用格子を作製する第４の工程とを有する鉛蓄電池用格子の製造方法において、第３の工程と第４の工程の間に、圧延シートを少なくとも１回以上１０℃以下の雰囲気で保管する製造方法であって、巻き取った圧延シートが第４の工程において機械加工されるまでに、１０℃より高い温度の雰囲気にさらされる時間の総和が１０時間以下であることを特徴とする鉛蓄電池用格子の製造方法。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１０】
また、本発明において、圧延シートが、カルシウムを０．０４重量％以上、０．０９重量％以下、かつ錫を１．０重量％以上、２．４重量％以下含んだ鉛－カルシウム－錫系合金であることがより好ましい。